

～～第8508回～～

大菩薩嶺

～H30. 8. 25～

前日の台風19号、20号が無事通過した。が、空にはまだ黒い雨雲が勢いよく北東の方向に向かって流れておりまだ余波が残る、目的地である山梨県を目指して6:00 バラの丘公園の駐車場を出発。新東名、国道52号、中央道を経由して大菩薩嶺方面へ、途中、中央道から望む甲府盆地の山々は山頂部が厚い雲に覆われ雲行きが怪しく、山頂からの眺望は期待できそうもなかった。上日川峠に近づくと案の定ガスが出てきて視界は不良だった。奥の駐車場の車も疎らで少し寂しい。ストレッチ運動後登山を開始する。曇っているせいか下界の熱中症注意報をよそに、気温22度の涼しい中を軽快に進む。福ちゃん荘前で給水し、峠をめざす。途中、大菩薩峠の謂れや何で大菩薩峠が昔話題になったのか等のレクチャーをしながら歩くこと40分程で大菩薩峠の介山荘前に着く、軽く休憩後、大菩薩嶺へ、賽の河原やガレ場、岩場を越えて雷岩に到着、岩の周りは昼食を摂るグループでにぎやか、私達も空いている場所を見つけてシートを広げた。昼食を摂っていると突然目の前の霧が晴れ、眼下に塩山市の街並みと今、車で走ってきた国道411号線がはっきり見え、周囲から「ワーッ」という声が上がった。上を見上げると、澄んだ深い真っ青な空が秋の近いこと暗示しているようだった。季節感の先取りが出来るのも山登りの醍醐味の一つかもしれないなどとおもいながら昼食を終えた。午後は雷岩を越えて大菩薩嶺へ、山頂は全く眺望がない為記念写真を撮って早々に下山開始、雷岩まで引き返し岩の手前を右に折れ唐松尾根を下る、ザレ場と急坂で転倒しやすい道なので慎重に高度を下げる。小一時間で福ちゃん荘の裏側に到着、小休止後、朝来た山道に戻って上日川峠に着いた。帰路は大菩薩の湯で一汗流し、日本最古と言われるワイナリーに立ち寄ってワインの試飲と甲州のブドウを買いバラの丘に向け車を走らせた。たまには日帰りで無理のないコースを楽しみながら登るのもいいもので、一汗掻いてよい夏バテ解消になったのではと自負しております。

参加者：11名（島田）

天候：曇りのち晴れ

地図：大菩薩峠

コースタイム：バラの丘駐車場 600＝上日川峠 940…福ちゃん荘 1000-20…大菩薩峠 1100-10…雷岩 1200-35…大菩薩嶺 1245-50…雷岩 1300…(唐松尾根)…福ちゃん荘 1350-1400…上日川峠 1420

記録：島田支部 H・M